

第3分科会

テーマ：河川改修等における工夫事例 ～災害復旧、樹木管理の取組～

No.	題名	地 方 ブロック	水系名 河川名	直轄/補助 (級別)	河川概要				はっぴょうしゃ 発表者	所属部署		事業の概要
					河川の 流域面積	河川分類	整備計画流量※1	セグメント※ 1		機 関	部・事務所	
1	天塩川下流域樹木管理方法の紹介について	北海道	天塩川水系 天塩川	直轄(1級)	5590 km ²	大河川	4000m ³ /s (W=概ね1/40)	2-2	すずき じゅんや 鈴木 順也	北海道開発局	留萌開発建設部幌延 河川事務所	地域特有の課題である希少猛禽類に配慮するため、時期によらない河道内樹木の管理方法を検討する必要がある。試験的に実施した再萌芽抑制の取り組みについてモニタリングした結果を紹介する。
2	河道内樹木の再繁茂対策について 自走式伐採混合機による試験施工の取り組み	東北	鳴瀬川水系 鳴瀬川	直轄(1級)	760km ²	大河川	3,600m ³ /s (W=1/70)	2-2	たけうち たかあき 竹内 崇暁	東北地方整備局	北上川下流河川事務所	・河道内樹木の伐採に関して「コストの縮減」「施工・管理の効率化」を目的とし、自走式伐採混合機を使用した試験施工を実施
3	滑川地区における環境配慮の取組み	東北	阿武隈川水系 阿武隈川	直轄(1級)	5400 km ²	大河川	1,500m ³ /s (W=1/220)	1	おがさわら かい 小笠原 魁	東北地方整備局	福島河川事務所	・当該地区は河床を切り下げる掘削が計画されているが、河床の切り下げにより上流区間の低水路河床と平水位が下がっていわゆる‘二極化’が進行し、高水敷や砂州が乾燥化するなど保全すべき環境が損なわれる可能性が高い。よって、川幅を広げることにより河床の切り下げ規模を軽減できるか検討する。
4	天竜川下流部における河道内樹木の再繁茂抑制対策検討	中部	天竜川水系 天竜川	直轄(1級)	5090km ²	大河川	13500m ³ /s (W=1/50)	2-1	あだち みつえ 足立 美津江	中部地方整備局	浜松河川国道事務所	樹木抜海+砂州の切り下げを実施し、無次元掃流力を確保することにより河床攪乱が生じさせることが再繁茂抑制対策として有効であるか、試験施工後。モニタリング調査を実施し、検討した
5	木曽川の河道の二極化に関する課題と対策	中部	木曽川水系 木曽川	直轄(1級)	5275 km ²	大河川	12500m ³ /s (W=1/77)	1	まゆずみ ゆき 黛 由季	中部地方整備局	木曽川上流河川事務所	・木曽川では河道の二極化が進行している ・二極化緩和対策として摩擦速度を低減させるために、樹木伐採や砂州上の掘削を行うことが効果的であることが示唆された。 ・今後、木曽川のセグメント1区間で二極化緩和対策を実施予定である。
6	肱川 柚木・如法寺地区の景観について	四国	肱川水系 肱川	直轄(1級)	1210 km ²	大河川	6,200m ³ /s (W=1/90)	2-1	もりもと かずと 森本 万人	四国地方整備局	肱川緊急治水対策河 川事務所	・激特事業（災害対）応箇所における景観への配慮
7	山国川における景観と環境に配慮した河川整備について	九州	山国川水系 山国川	直轄(1級)	540 km ²	大河川	(床上浸水対策特別緊急事業 2,900m ³ /s) (整備計画流量 2,700m ³ /s W=1/70)	M	あべ よしお 安部 寿雄	九州地方整備局	山国川河川事務所	・平成24年九州北部豪雨災害に対する床上浸水対策特別緊急事業（災害復旧事業）として、延長約10km、13地区の整備を行った1地区の景観と環境に配慮した取り組みの紹介。